

「住んでよかった、住み続けたい」「住んでみたい」
……人々から評価されるまちづくり(政策開発)の手法とは?

選ばれる自治体の条件

—政策開発の手法と実践II—

牧瀬 稔 / 戸田市政策研究所 編著

●A5判 / 192頁 ●定価 1,890円 (本体1,800円)

ISBN978-4-8090-4056-6 C3031 ¥1800E



【編著者のプロフィール】

牧瀬 稔

戸田市政策形成アドバイザー、財団法人地域開発研究所研究部研究員
著書に「政策形成の戦略と展開-自治体シンクタンク序説」(東京法令出版)など
多数。

時事通信社「官庁速報」(ijamp)で「条例探訪」を連載中。

戸田市政策研究所

2008年4月に戸田市政策秘書室内に設置された市長直轄の組織(自治体シンクタンク)。副市長が所長、政策秘書室長が副所長を務める。

政策開発の手法を学ぶ「テキスト」

- 様々な調査・研究の手法
(ヒアリング調査、統計データ分析調査 など)
- 自治体政策にも使える民間企業の経営分析の手法
(SWOT分析、ロジック・ツリー など)
- 自学を促す自主勉強会の意義と勉強会を開催する際のポイント



具体的な政策開発の「事例集」

- 調査・研究の成果、政策開発の取り組み事例
(シティセールス、行政と大学の連携 など)
- 政策形成アドバイザーによるテーマごとのポイント解説
- 研究成果から得られる他の自治体への適用可能性

目次

第I部 政策開発の進め方

第1章 自治体政策における調査・研究の視点

- 1 住民福祉の増進に寄与する調査・研究
- 2 調査・研究の流れ
- 3 調査・研究の手法
- 4 自治体政策における調査・研究の視点とは?

第2章 政策開発の基本的視座と手法

- 1 地方自治体と民間企業の根本的な違い
- 2 政策開発の視点と具体的手法
- 3 政策開発の手法を活用する際のポイント

第3章 自学を促す自主勉強会の実践

- 1 自ら学ぶ時代がやってきた!
- 2 意外に活発化している自主勉強会
- 3 自主勉強会のメリット
- 4 自主勉強会を開催するポイント

第II部 選ばれる自治体になるための政策開発

第1章 “わがまち”を売り出す

—首都近郊都市におけるシティセールス—

第2章 忍び寄る高齢化の波

—急速な高齢化が戸田市に及ぼす影響を考える—

第3章 地域へ大学の風を呼び込む

—地域に大学がない自治体の取り組み—

第4章 2020年度税収予測

—マンション立地と法人転出の関係を読み解く—

第5章 自治体広告事業の可能性

—導入期から成長期への展開手法を考察する—

第6章 団塊の世代を地域に呼び戻すヒント

—新たな担い手発掘を目指して—

政策開発の手法を学ぶ

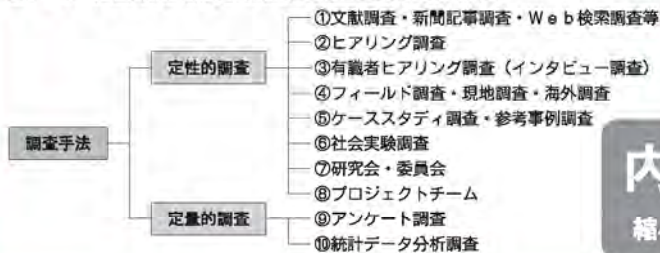
3 調査・研究の手法

今日、様々な調査・研究の手法がある。その中で、私が使ってきたことのある方法について紹介する。

一般的に調査・研究の手法は、大きく「定性的調査」と「定量的調査」に分類される。前者の定性的調査とは、対象の質に着目する調査であり、質的調査ともいわれる。あくまでも「質」に焦点を絞る調査である。一方で、後者の定量的調査とは、対象の量的な側面に注目し、数値を用いた記述や分析を伴う調査である。この場合は、字のごとく「量」に重みをおいた調査である。

具体的な手法として、図1-3のように大きく分けることができるだろう。なお、図1-3で示した類型は、私の個人的な考えである。以下では、それぞれの調査について簡単に言及していく。

図1-3 定性的調査と定量的調査における具体的な調査手法



10の調査
研究手法を
解説!

2 政策開発の視点と具体的手法

本節では政策開発を進めるに当たり、必要な視点と具体的手法を紹介する。自治体政策の世界で活用できる民間企業の経営分析のツールは少なくない。ここで紹介する内容は、私の経験から「民間企業の経営分析の手法の中でも、自治体政策において活用できる」と結論を得たものである。また経営分析の基本的視座や手法を、自治体政策に当てはめても使えるに咀嚼した内容である。

民間企業の経営分析の基本的視座や手法は多方面から都合上、本節においては次の5点に絞り紹介する。

- ① ギャップ・アプローチとポジティブ・アプローチ
- ② 5W3H
- ③ SWOT分析
- ④ ロジック・ツリー
- ⑤ マトリクス分析

使える5つの
経営分析の
手法を紹介!

内容見本

縮小してあります

事例から学ぶ

政策形成アドバイザーが解説する 本章を読み解くための視点

地方自治体と大学をとりまく環境変化

日常の中で、「産学連携」や「産学官連携」という言葉が目に入るようになってから10年以上が経過した。成功事例の方程式がなかなか確立されないまま、地方自治体も大学も（そして民間企業も）、試行錯誤を繰り返してきた。図3-1は主要4紙における「産学連携」と「産学官連携」という言葉の推移を示したものである。一時期、隆盛を迎えたが、近年では悪戦苦闘の様子が理解できる。

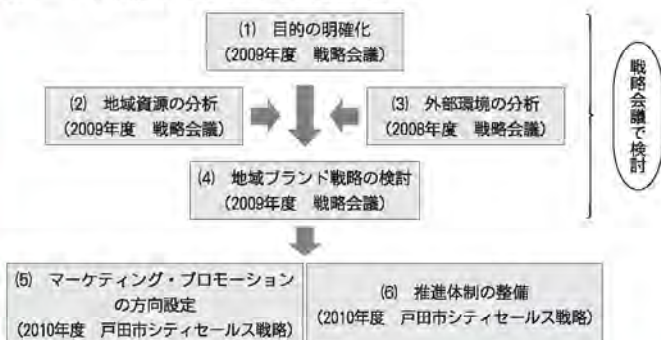
今日、地方自治体と大学を取り巻く現状は、新たな局面を迎えている。地方自治体について言及すると、人口減少による財政の悪化、少子化による定員割れの続出や、2004年の国立大学の統合による都市間競争の時代へ突入しつつある。一方で、少子化による定員割れの続出や、2004年の国立大学の統合による都市間競争の時代へ突入している。

政策形成
アドバイザー
によるポイント
解説付

4 戸田市の地域ブランド戦略

第3節(3)で述べたブランド施策の方向性を踏まえ、地域ブランド戦略を進め、まず検討手順を図1-1のように設定した。2009年度に地域資源の分析、外部環境の分析、地域ブランド戦略の検討を行った。このすべてについて、戦略会議で検討を行った。

図1-1 戸田市における地域ブランド検討の手順



資料：生田孝史・湯川抗・濱崎博「地域ブランド関連施策の現状と課題」をもとに作成

詳しい内容は、こちらまで!

東京法令

<http://www.tokyo-horei.co.jp/>

検索

姉妹図書

政策開発の手法と実践

—自治体シンクタンク「戸田市政策研究所」の可能性—

牧瀬 稔/戸田市政策研究所 編著

●A5判 ●272頁 ●定価2,310円(本体2,200円)
ISBN978-4-8090-4047-4 C3031 ¥2200E

◆第1部では政策形成力を高めるための基礎的な手法を解説、第2部では戸田市における政策開発の実践事例を紹介!

◆政策形成能力向上のための研修テキスト、行政視察の資料としても活用できます。

◆第7回法政大学地域研究センター「地域政策研究賞優秀賞」受賞!

申込書

キリトリ線

選ばれる自治体の条件 —政策開発の手法と実践II—	A5判・定価1,890円(税込) (コード10919)	部
政策開発の手法と実践	A5判・定価2,310円(税込) (コード10560)	部

上記のとおり申し込みます。 公用 私有 (送料は1部200円、2部以上はサービス) 平成 年 月 日

〒 _____ 住所

団体名 _____ 部署名 _____

フリガナ _____

お名前 _____ 様 (印) TEL _____

★お客様の個人情報は、契約の履行及びご案内に利用させていただきます。第三者への提供は一切いたしません。

この申込書は、このままFAXで下記宛にお送りください。

■申込先
東京法令出版株式会社 受注センター
〒381-0022 長野市大島島3111

FAX 0120-338-923
TEL 0120-338-272

(携帯電話からもお申込みできます。)

会社 使用 欄	団体コード	<input type="checkbox"/> 納品済	入力印
	得意先コード	<input type="checkbox"/> 請求済	シリアル
在庫	ラベル	<input type="checkbox"/> 領収済	